



平成20(2008)年7月22日(火)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

http://www.nakayama clinic.jp

産婦人科医の喜び

院長 中山茂樹

暑すぎますね、毎日毎日。学校は夏休みに入っていますが、羨ましい。私も一度でものんびり休みを取ってみたいな。

私の夏バテ予防法は冷たい食べ物、飲み物は極力摂らないことです。15年ほど前、暑い暑い日に冷たいビールを飲み過ぎ、1ヶ月間、体調が戻らなかったことがあったので、それ以来夏は熱いものを摂ることにしています。

さて、この所、滋賀医大から月に一度24時間だけ、代診に来て貰っている先生が、滋賀医大の関連病院が8つも閉鎖した、と話してくれました。そこへ派遣する医師が大学にいないからだということでした。

私が昭和56年から新設間もない滋賀医大で非常勤・助手として働いていたとき、教授以下10名でしたが30年近く経った今もって教授以下10名ということでした。一向に増員できない、産婦人科の医局に入る医師が増えないということでした。困ったものです。なるほど、多くの診療科目の中でも3K(きつい、きびしい、きたない)を揃えた科目の上、設備投資も増えるのに保険請求は他科と一緒に下げられていったから、少子化と併せて経営も苦しくなっているのです。だけど、私の場合は天命として始めた仕事、どうしてもやり遂げねばならないという心境です。

しかしながら、今年になってから結婚10年近い女性の妊娠が増えました。原因はよくわからないので6すが、私は余り顔に出さないけれど、当人から実に多くの喜びと力を貰っています。これほど大きな喜びを頂ける科目は他には無いのではないかとさえ思えてきました。そして、その女性が元気な赤ちゃんを出産されたとき、さらに2倍、3倍の喜びを感じ、人生の、そしてこの仕事の喜びを味わいます。新しい生命の誕生はどんなお金より優れたものなのです。

もちろん、流産や死産などの時の悲しみは患者さんより何倍も悲しいし、責任を感じたりしますが、それも顔に出してはいけないのが医師なので、つらいです。しかし、このように色々、多くの喜び、悲しみを患者さんと一緒に共有できる科目は他に無いといってもいいかも知れま

せん。

若い医師の卵たちに極力産婦人科を選択して貰いたいものです。産婦人科の医師たちも苦しみや大変さを訴えるより、折があるたびに、この診療科目の大切さ、喜び、大いなる存在意義を声高に言わなければならないのかも知れません。国も小手先の政策より、医師の使命や、人命を預かる医師の尊厳を国民に訴えるようにして欲しいものですね。

子を持って知る親の恩 事務 瀬尾真紀

“おおいなるきぼうのちから キュアドリーム”、3歳の娘が現在夢中になっているプリキュア5(ファイブ)。誰も教えていないのに5人のキメ台詞をポーズ付きでやってくれます。そんな元気いっぱい娘ですが実は股関節脱臼治療後の経過観察中です。

発覚したのは10ヶ月検診の時でした。あとから考えればおしりの左右の大きさが違ったり、ひざの高さが違ったり、と思いついたところがいくつかあったのですが、知らないということは怖いもので深く考えてはいませんでした。1歳になる少し前に入院、完全看護の病院のため付き添いは出来ず、娘を残して帰る日々。幸い1ヶ月という短い入院で済んだものの、もっと早く気づいていたら…と後悔しています。

親が子供を心配するのは当たり前…、自分が親になってようやく分かった気がします。(自分の親に心配させてきたので娘には何も言えません。)

見た目、“キュアドリーム”にはほど遠い娘ですが、明るく元気でたくましい女の子になって欲しいと思っています。

幸福度 日本は43位

世界の幸福度調査

去る7月17日の新聞記事。 →

アメリカの調査機関が対象国35万人に①非常に幸せ ②まあまあ…とかで統計した。日本人は本当にこんなに不幸せなのか、謙遜深くて幸せなのに幸せと言えないのか。愛しているのに口では言えない心境なのか。お考え下さい。

- 国・地域 —
- 1 デンマーク
- 2 プエルトリコ (米自治領)
- 3 コロンビア
- 4 アイスランド
- 5 北アイルランド (英国)
- …
- 16 米 国
- 21 英 国
- 43 日 本
- 54 中 国
- 62 韓 国

ます。

… … … …

[あ と が き]

過日、足踏みミシンの不要品をお譲り下さい、という待合室の張り紙に応じて下さいました方があり、早速、我々NPO活動の一環として、フィリピンに送ったところ、ボランティアで活動している日本人の方から大変喜ばれました。まだ、譲渡希望の方があればお知らせ下さい。(院長)